

スポーツクラブ会員のプログラム参加 に影響を及ぼす要因に関する研究 —— 特に、クラブ内の仲間の影響について ——

○藤本 淳也 (鹿屋体育大学大学院)

菊池 秀夫 (鹿屋体育大学)

原田 宗彦 (大阪体育大学)

スポーツクラブ プログラム参加 仲間

1. 緒言

近年、スポーツクラブが急激に増加している。これにともなって、各スポーツクラブ間の競争が激化し、新規会員の勧誘・確保とともに既存会員をいかに維持していくかということも、より重要な課題となってきた。その課題に取り組む上で、会員のプログラム参加に影響を及ぼす要因を明らかにすることは不可欠な条件となる。

これまで、スポーツ活動への参加や継続に影響を及ぼす要因に関しては多くの研究報告がなされてきた。その中には、一緒に活動する「仲間」を一つの要因として報告したのも少なくなく、「仲間」の有無がスポーツ活動の参加、継続に対して大きな影響力を持つことが示唆されている。例えば、運動プログラムを個人で実施した場合とグループで実施した場合との継続率の比較において (Massi & Shephard 1971)、スポーツ行動の予測要因として (徳永他 1980)、あるいは、スポーツ参加規定要因として (丹羽他 1978) その影響力を明らかにした研究が報告されている。これらの研究から、「仲間」の有無は、スポーツクラブにおける会員のプログラム参加についても、同様の影響を及ぼすことが推察される。本研究の目的は、スポーツクラブ会員のクラブ内の「仲間」の有無とプログラムへの参加との関連について、特に参加に対する態度及び満足度との関連を明らかにすることである。

2. 研究方法

<データ収集>

調査方法：留置法（手渡し）による質問紙調査

調査対象：Aスポーツクラブ会員585名（大阪府吹田市南千里）

調査期間：1987年11月から1988年3月の5ヶ月

有効回収標本数（回収率）：394（67.4%）

<グルーピング>本研究では、スポーツクラブ内での親しく話をする人の有無によって、「仲間がいる」と「仲間がいない」の2グループに分類した。尚、その内訳は「仲間がいる」190名（48.2%）、「仲間がいない」204名（51.8%）であった。

<データ分析>本研究におけるプログラム参加関連項目、クラブ利用満足度、そして個人的属性は順序尺度または名義尺度で測定されており、これらの変数についての2グループ間の有意差の検定には、 χ^2 検定を用いた。

3. 結果及び考察

表1は、会員のクラブ内の仲間の有無と各項目との関連を示したもので、6項目について5%あるいはそれ以上の水準で有意な差が認められた。

プログラム参加関連項目：「スポーツクラブの利用頻度」（表2）及び「スポーツクラ

「利用時間」(表3)において有意な差が認められた。利用頻度では、「週4回以上」が仲間がいる会員は13.4%であるのに対し、仲間のいない会員では3.5%であった。また、利用時間では、「120分以上」が前者は32.3%であるのに対し、後者では16.7%であった。

クラブ利用満足度：スポーツクラブの「施設満足度」、「プログラム満足度」、「指導者満足度」のいずれにおいても有意な差は認められなかった。

個人的属性：「年齢」「性別」「未婚・既婚」「学歴」の4項目について有意な差が認められた。つまり、仲間がいる会員には女性と若い年代層の者が多く、仲間のいない会員には、男性と既婚者が多い傾向がみられる。

以上の結果から、仲間がいる会員は仲間のいない会員よりもクラブの利用頻度が高く、利用時間も長い傾向があること、また、個人的属性においてもその特徴に差がみられることが明らかにされた。

発表当日は、これらの結果についてより詳しい報告をする。

表1 仲間の有無と各項目との関連

	χ^2 値	df	p
< プログラム参加関連項目 >			
スポーツクラブ利用頻度	18.9211	3	***
スポーツクラブ利用時間	17.7228	3	***
クラブロイヤルティ	5.3381	2	N.S.
入会の動機	2.5111	1	N.S.
< クラブ利用満足度 >			
施設満足度	2.0630	1	N.S.
プログラム満足度	.0942	1	N.S.
指導者満足度	.0026	1	N.S.
< 個人的属性 >			
年齢	13.3253	3	**
性別	19.6729	1	***
未婚・既婚	17.2815	1	***
学歴	7.8314	2	*
収入	2.4006	2	N.S.

* p<.05 ** p<.01 *** p<.001

表2 スポーツクラブ利用頻度と仲間の有無

		スポーツクラブ利用頻度			
		週1回	週2回	週3回	週4回以上
仲間の有無	いる n=187	39 (20.9)	72 (38.5)	51 (27.3)	25 (13.4)
	いない n=202	71 (35.1)	74 (36.6)	50 (24.8)	7 (3.5)

Note: ()内は行に対するパーセンテージ
 $\chi^2 = 18.9211$ df = 3 p < .001

表3 スポーツクラブ利用時間と仲間の有無

		スポーツクラブ利用時間			
		60分以内	60~90分	90~120分	120分以上
仲間の有無	いる n=189	7 (3.7)	34 (18.0)	87 (46.0)	61 (32.3)
	いない n=203	19 (9.4)	54 (26.6)	96 (47.3)	34 (16.7)

Note: ()内は行に対するパーセンテージ
 $\chi^2 = 17.7228$ df = 3 p < .001